

コンビニ収納の導入による納税効果を調査

総務常任委員長 浅見 武志

当委員会は、12月10日委員会を開催し、所管する税務課・住民課の当面の課題について調査を行った。

調査項目

1. コンビニ収納（税務課）
2. 法人町民税（税務課）
3. 群馬県後期高齢者医療制度（住民課）

調査経過

コンビニ収納は納税者の利便性を図ることを第一の目的としている。全国どこからでも納税することが可能であり、24時間365日いつでも納付できるようにする。

当町においては、平成20年度から軽自動車税、平成21年度から個人住民税（普

通徴収）、固定資産税、都市計画税、国民健康保険税の導入が予定されている。

導入費用は、平成19・20年度の初期費用（電算関係委託料など）として合計440万円ほどである。

ランニングコストは、4税を導入した場合の手数料として年間300万円ほどである。内訳は、収納事務委託基本手数料が月額5250円、収納事務委託手数料が収納用紙取り扱い1件につき60円である。

先進地では、納税者の約25%から30%がコンビニ収納により納付している。このデータをもとに、当町においては年間5万件の利用が推定されることである。

考察

コンビニ収納は、初期投資やランニングコストがかかるが、ライフスタイルの変化に伴い納税者の利便性が図られ、未納を減らすなど、収納率の向上も期待できる。導入後の効果を期待する。



コンビニ収納の導入で、収納率向上を期待

商工業政策研究会諸事業などを調査

経済建設常任委員長 村田 安男

当委員会は、12月10日委員会を開催し、所管する経済産業課・都市建設課の当面の課題について調査を行った。

調査項目

1. 商工業政策研究会（経済産業課）
2. サイクリングロード（都市建設課）
3. 県道高崎・伊勢崎線道路改良事業（都市建設課）
4. 下新田公園整備事業（都市建設課）

調査経過

1. 商工業政策研究会提言に基づき開催された「創業塾」は、平成17年度から実施し、参加者は3年間で合計46名であった。受講者4名が開業している。

2. この事業は、利根川、烏川堤防沿いのサイクリングロードから、町内の史跡、公共施設などを結ぶ路線整備を行うものである。今年度で3年目だが、19年度以降は町単独事業となっている。

3. 平成12年度から行ってきた本事業も今年度末で終了となる。信号機設置により発生している渋滞も、現在の工事が終了することにより、解消されると思われる。

4. 旧群馬銀行跡地を利用し整備を進めている本事業は、今年度トイレの工事を行い、来年度は駐車場及び山車庫の建設などが予定されている。事業は2カ所を予定

考察

1. 町全体の活気を起こす

2. 未着手部分の早期実現を望む。

3. 信号機のパターンなどの調節、および関係機関との連携により、渋滞解消への努力を求める。

4. 事業の実施および完成後の管理について、地元住民と積極的に話し合いを行うことを望む。



利根川沿いのサイクリングロード

第3保育所建設計画の進捗状況を調査

文教福祉常任委員長 中里 知恵子

当委員会は、12月11日委員会を開催し、所管する子ども育成課の当面の課題について調査を行った。

調査項目

1. 第3保育所の建設計画
2. ファミリーサポートセンターの設置
3. 次世代育成支援地域行動計画の進捗状況

調査経過

第3保育所の建設計画については、今年度すでに2回(5月、8月)建設委員会が実施されている。この協議の中で、保育所の西側の土地約1000㎡を買い求めることが決まり、現在は購入価格を交渉中とのことである。新園舎は、拡張する土地の北側部分にまず南向きに建設され、完成後に現園舎の一部を解体する。順次既設部分の取り壊しを



拡張予定の西側土地から見た第3保育所

考察

行いながら、新園舎を増築していくとのことである。平成20年度には実施設計・施工管理等委託の入札を行い、平成22年4月から新園舎に入れるよう準備が進められている。

また、保育所周辺にある旧水道跡地については、保護者の送迎や職員の駐車場用地として有効利用できるよう検討されている。

第3保育所は、老朽化による建物の安全性が心配され、何年も前から地域住民による建設希望が出されていた。子供や保護者だけでなく、住民からの理解も得られるような保育所建設に取り組んでいくことが必要である。目標年度に開所できるよう、今後の綿密な計画立案を求める。

農業委員会と農政懇談会を実施

平成19年12月14日、経済建設常任委員会と農業委員会との農政懇談会が実施されました。

農業委員会からすでに提出されていた要望書、建議書に基づいて意見交換を行いました。

今後は、これらの意見をふまえ、協議を行っていく方針です。農業委員会と意見交換の場を設けることは、かねてからの課題でした。予定時間を大幅に延長しての懇談会は、大変有意義なものでした。

- 要望項目は、
1. 農村公園の早期実現
 2. 担い手対策
 3. 農業機械リース事業支援
 4. 環境保全対策
 5. 原油高騰に対する支援
 6. 農薬防除
 7. 特産品づくりの推進

- 建議項目は、
1. 担い手経営対策
 2. 米政策改革に対する支援
 3. 環境対策に対する支援
 4. 食農教育
 5. バイオマスの研究

農業を取り巻く厳しい現実の中、多くの委員から活発な意見が出されました。



農業を取り巻く今後の課題は